

ひょうご



森林ボランティア 第4号

兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会

チョット立ち止まってみませんか

ブナを植える会 会長 桑田 結

私たち森林ボランティアは<国民・県民総参加の森づくり>の施策の下、県下各地で活動を展開しています。その活動内容は、各団体の設立時の趣旨により多種多様であります。その後の活動実績は活動目標が明確になるにつれて、必然的に集約化されるようです。唯、このような多種多様な活動に、今、チョット待ってねという声聞こえるのであります。設立以来アクセルだけで走ってきた団体に、ブレーキが必要ではないかという声であります。活動の中には熱意と無知識が優先して生物多様性を損なう事例も散見されます。森林ボランティア活動の成果を判定する制度が無いのが、これからの課題ではないでしょうか。

社会的ニーズで誕生した森林ボランティア団体ですが、10～20年と経って円熟期に入っ、今、大きな転換期にあるのではないのでしょうか。森林ボランティア団体連絡協議会が縦割り組織で、今以上の進歩発展が余り望めない現状を打破して、作業内容別の横断的な組織を作り、自分のフィールドを出て、求められるフィールドへ出掛けるというのは、どうでしょう。それには、森ボラ協の内部においては、シニア会員の活用、女性会員・リーダーの育成と登用、生物多様性等に十分な知識を持ったメンバーの育成などが求められると思います。

○森づくり班は、足場の良い所のバッファゾーン作りなど、これには、トライやるウィークの活用などを視野に入れた森づくり活動を目指す。

○環境学習班は、求められる学校などへ出掛け、学校近くの自然環境を活用した活動を目指す。

○木工遊び班は、求められる学校や老人会へ出掛けて、

木工遊びやゲームを行う。このような組織を森ボラ協内に作り、広く社会のニーズに応えたいのです。



これには、クラブリーダーの幅広い見識と決断力、相当な事務力が求められるでしょう、更に、取り組み相手になる、行政、学校、地域団体などとの合意形成が必要となるでしょう、共通した課題の解決に同じスタンスに立てば可能な話と思うのですが。

これには、森林ボランティア団体連絡協議会の法人化<一般社団法人>が取り組みのパートナーとなって、社会的な信用を得る必要な手続きのひとつと思います。私たち森林ボランティア団体連絡協議会の新しい活動目標がこの様な社会的ニーズとマッチすれば、この取り組みは成功すると思うのですが、皆様のご意見、ご提案をお待ちいたします。

今、森林ボランティアの評価が設立当時のままで、その成果が社会的に十分に評価されない現状を改善するためには、私たちは、単に森林ボランティアに終わるのではなく立派な知識と技術を持った<森林管理士>(仮称)であり<環境再生士>(仮称)でなければならないと思います。これらの実力を持った人々が増えれば社会的評価も自然に高まるのではないのでしょうか。

ひょうご森のまつり2014

1956年から毎年開かれており、今年で58回目となる「ひょうご森のまつり」。今年は、養父市のハチ高原で開催されました。天候にも恵まれ、紅葉に彩られた高原は多数の参加者で賑わいました。

当兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会も協力団体として名を連ねており、森林整備やブナの植樹体験ならびにカヤ草き体験イベントなどを実施するとともに、各森林ボランティア団体の紹介パネルやのぼり旗を設置し、参加者に我々の活動を紹介しました。式典では「ひょうご森づくり活動賞」の表彰や森林ボランティア団体の活動報告などが行われました。

日 時 平成26年10月26日(日) 10:00~15:00

場 所 ハチ高原(養父市丹戸・大久保)

主 催 兵庫県・養父市・(公社)兵庫県緑化推進協会

主な内容(兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会関係)

- ・知事、養父市長の挨拶のあと、各種表彰の中で「ひょうご森づくり活動賞」の表彰があり、「井手里山を守る会」と「的形ふるさと里山会」の2団体が県知事から表彰を受けました。
- ・当協議会会員がのぼり旗をもって登壇する中、桑田会長が森林ボランティア活動についての報告を行いました。
- ・当協議会が主催する森林整備体験、ブナ植樹体験ならびにカヤ草き体験イベントを実施し、参加者に体験をしてもらいました。

素晴らしい晴天に恵まれ、多くの人々が集い、色づき始めたハチ高原で秋の1日を楽しみました。

- ・当会ブースにおいて会員団体の紹介パネルなどを展示し、我々の活動のPRを行いました。



活動報告の様子



森づくり活動賞受賞風景



ブナの植樹体験風景

ひょうご森の日イベント

平成17年10月に全国育樹祭が兵庫県で開催されたことを契機に、毎年10月の最終日曜日を「ひょうご森の日」と定め、この日を中心に森づくりイベントを開催しています。「森の日」を中心とした県下各地のイベントを通じ、森の良さや森林整備の重要性を多くの人に発信し、森づくりへの参画を促すことを目的に、今年度も各ボランティア団体が、ホームグラウンドでの整備体験など多様な催しを開催しています。そのほかに、今年は全県イベントとして、「県立ささやまの森公園」の秋の里山まつりに当協議会も参加し、森の楽しみを伝え、森へ誘うような事業として、森の恵みを使った工作教室(竹細工)や森林観察会、パネル展示による活動報告などを行いました。



工作教室体験風景

ひょうご森づくり活動賞

森づくり活動を通じて、森林・里山整備及び地域住民との交流や人材育成を推進し、緑豊かで住みよい県土づくり、「県民総参加の森づくり」に貢献した優れた団体に対し「ひょうご森づくり活動賞」を贈呈することにより、広く県民の森づくりへの参加意識の高揚を図り、さらに市民活動の輪を広げると共に地域住民、企業、行政等との活動を促進することを目的とし、平成23年9月に施行された賞です。

平成26年度は次の2団体が受賞されました。

井手里山を守る会（淡路市井手）

今年度の「ひょうご森づくり活動賞」を賜りありがとうございます。当会は、指定文化財「題目石」周辺の里山管理を本格的に始めて6年目です。竹伐採、草刈り、遊歩道整備、等の活動に加え、楽しみとして、竹炭・竹酢液や竹細工作り、椎茸栽培、筍掘り、を通じ地域住民との交流をはかっています。淡路島で開催された「森のまつり2011」をきっかけに、竹林整備が活発になりました。また淡路県民局が進めている「あわじ島竹取り物語プロジェクト」に参加して竹の有効利活用の活動に加わっています。会員の高齢化と会員数減少の課題を抱えつつ、今回の受賞を励みに、さらに里山管理活動を発展させていきたいと思っています。



筍掘りイベントで集合

的形ふるさと里山会（姫路市的形町）

姫路市南東部、海に面する我が地域は、昔親しんだ里山が朽ち果てた状態でしたが、平成18年に地域活性化の一手段として、有志による里山復活作戦を始めました。登山道と眺望所開拓、登山道草刈り、階段設置、倒木伐採と苗木植樹による維持活動で「町民の健康とコミュニティづくりの場」としています。また、町外の方々との交流を視野に東屋・眺望案内板の設置や登山マップの発行も致しました。学校との連携活動にも力をいれ、的形小3年生には樹木の名札記入をして頂き、解説書「的形里山の樹木」を発行して環境体験学習に活用しながら現地案内をしています。的形こども園の園児には年数回の健康ハイク案内も喜ばれています。



小学校3年生環境体験学習

地域に愛される団体として“継続は力なり”をモットーに頑張ります。

森づくりに貢献のあった個人、団体が次の賞を受賞されました。

兵庫県功労者表彰（敬称略）

西本 紘二（山田の里グリーンクラブ会長）

全国育樹活動コンクール国土緑化推進機構理事長賞

川西里山クラブ

森林レクリエーション地域美化活動コンクール 全国森林レクリエーション協会会長賞

特定非営利活動法人 あいな里山茅葺同人

環境保全功労者知事表彰

コミュニティーひばり環境部会

平成26年度の活動

○平成26年度森林ボランティア講座への協力

県主催で実施されている森林ボランティア講座は、25年度から「入門編」、「中級リーダー養成編」、「上級リーダー養成編」に分けて実施されています。今年度は7月5日を皮切りに11月23日までの期間で8回実施され、当会の委員も参加するなど協力を行いました。

初級編では森林ボランティアで活動するにあたっての基本的な知識を得るには最適であり、中級・上級編ではさらにその能力を高めることができます。団体メンバーの方もできるだけ受講されてはいかがでしょうか。

○ひょうご森まつり2014への協力（2P参照）

本年度は養父市のハチ高原で開催されました。当会も森林整備体験、カヤ葺き体験などの催しを開催するとともに、当会のブースを設け森林ボランティア団体のPRにつとめました。

○ひょうご森の日の行事開催（2P参照）

兵庫県では毎年10月の最終日曜日を「ひょうご森の日」と定め、10月～11月にかけて実施される森林ボランティア団体の一般参加が可能なイベント情報を提供し、県民に広く参加を呼びかけています。本年度は、ささやまの森公園で開催される「秋の里山まつり」と共催で、「ひょうご森の日」全県イベントを開催しました。

○「少花粉スギ」の植樹

兵庫県ではスギ花粉症対策の一環として「少花粉スギ」の苗木の養成を進めており、県から寄贈された苗木100本を当協議会として、平成26年3月1日に再度公園に植樹しました。これからも「少花粉スギ」の育成と普及に努めてまいります。

○新規団体への「のぼり旗」配布

当会へ新規に加入された団体に対し、活動時を示す「のぼり旗」を配布しています。今年度は5団体に配布しました。

お知らせ（会員異動）

新会員となられた団体

①活動地 ②会員数 ③加盟日

○大和フォレストクラブ（①川西市大和西、大和第2緑地・大和第3緑地②22名③26.1.31）

○特定非営利活動法人姫路シーマンズクラブ（①瀬戸内海地域 家島群島②45名③26.4.10）

○網引湿原保存会（①加西市網引町網引湿原②39名③26.4.27）

○山守会（①豊岡市百合地内②3名③26.4.10）

○溪のサクラを守る会（①川西市水明台、緑台の猪名川斜面②58名③26.6.4）

退会された団体

○大地の輪ネットワーク（高砂）26.1.9 退会

○春日・丹波の森の会（丹波）26.5.13 退会

○淡路伊弉諾の丘里山倶楽部（淡路）26.8.28 退会



緑の募金

「緑の募金」にご協力ください！

公益社団法人兵庫県緑化推進協会

森や緑は私たちの暮らしに限りない恵みをもたらし、豊かな地球環境を残してくれています。

このかけがえのない森と緑を守り育てていくために、「緑の募金」として家庭募金、学校募金、職場募金、街頭募金、団体募金、企業募金を県下各地で行っています。

<http://www.hyogo-green.net/>

郵便振込

専用の払込取扱票用紙をお送りしますので、（公社）兵庫県緑化推進協会へ直接お問い合わせください。

銀行振込

口座：三井住友銀行兵庫県庁出張所

普通 3198438（振込手数料が必要）

名義：公益社団法人 兵庫県緑化推進協会

問い合わせ：TEL 078(341)4070 FAX 078(341)4071

事務局

兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

兵庫県農政環境部環境創造局 豊かな森づくり課 森づくり普及班 内

TEL 078-362-3613 Fax 078-362-3954

会報に関する問い合わせ・・・桑田 結 (TEL 090-3166-9785)